

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

№.268 2020年12月15日



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 正木茂博

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル 5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1840 FAX/078-393-1802

支部幹事会でミニ学習会

査定と審査の実態を交流

11月の支部幹事会において、不合理な査定、減点の事例を持ち寄る「ミニ学習会」を開催した。参加者は出された事例をもとに、査定や審査の実態について交流した。

支部幹事より、リプル注の査定事例が紹介された。同幹事は、『漫然と投与している』が減点理由だったが、こちらは必要性があって投与している。必要性を詳記して再請求したが、原審通りとなった」と報告した。

他の参加者からは「医師の審査委員で通すことはあっても、保険者が査定することがよくある。その場合でも、審査委員が『保険者の判断はおかしい』と思えば、査定をやめさせることはできる」「リプル注は昔からよく査定されてきた薬剤。審査委員も、保険者から強く言われると、その通りにせざるを得ない現状がある」など、審査の実態についても交流した。

同幹事は、「今回は審査委員会と面談もしたが、原審通りとなった」「同じ査定をするにし

ても、長期間遡って減点するのは不当で、改善するべきだ」と指摘。「保険者による機械的な査定が増え、医師の裁量が小さくなると、本来の医療のあり方から遠ざかることになる」と強調した。

参加者からは「厚労省のルールになくても、審査・支払い機関や保険者が独自の基準で査定をする。その傾向を知りたいと思う先生は多いのではないか」「査定や審査の実態を広く先生方と共有したい」などの声が出された。

支部では今後も不合理な査定の相談を受け付ける。

お問い合わせは TEL078-393-1840（事務局：山川）まで。

西播社保協自治体キャラバン

地方自治体がリードし新型コロナ対策を

地域の医療・福祉改善のため、住民らでつくる西播社会保障推進協議会（西播社保協・会長 高森信岳副支部長）が毎年秋に行う自治体キャラバン（自治体訪問）が今年も行われ、11月10～26日の6日間に姫路・西播地域の全5市6町を訪問し、住民らが自治体職員と懇談した。太子町に訪問した20日のキャラバンの様子を報告する。

自治体キャラバンは、県下の市町に社会保障改善を求める要望書を提出し、各自治体からの回答に基づいて、地元住民らが首長や職員と懇談を行うもの。西播社保協では、懇談をよりよいものにしようと、各自治体から出された「要望書への回答」を事前に参加者に配布してからキャラバンに臨んだ。キャラバン参加者は、昨年よりも一層積極的に発言し、医療や福祉の充実を求める強い思いを自治体職員に届けた。

20日の太子町との懇談には住民ら15人が参加。新型コロナウイルス感染症の対応強化を求める声が多数出された。「検査をしたいと医療機関を受診したら、保険ではできないと言われた。心配だから検査したいという住民はたくさんいる。気軽に検査できるようにしてほしい」「保健所にも断られた」などの声に、町職員は「体制は整えている。希望者全員となると経費がかかる」などと、検査をしたいという要求に全く応えようとしないうる発言がなされた。また、「太子町で感染者は出たのか」という質問に職員は「確認されていません」と回答したが、住民から「太子



太子町での自治体職員との懇談の様子

町の事業所で感染者が出たという話がある」と迫ると「それは承知していますが、太子町に住所のある方の感染は確認していません」と述べた。住民は「都市部から地方へ、どんどん感染が広がっている。自治体として、もっと本腰をあげて対策をするべきだ」と要求した。

参加者は、国民健康保険料の滞納を理由にした差し押さえの停止や生活保護基準の引き上げなどについても、「自助・自立などではなく、憲法に基づいて責任を果たしてほしい」と福祉の充実を求めた。

支部ニュースへぜひご投稿ください

日常診療のことや、医科・歯科連携などテーマは自由です。

ぜひご投稿ください。よろしくお願ひします。

お問い合わせは [Tel:078-393-1840](tel:078-393-1840)

投稿は Fax:078-393-1820 または E-mail:yamakawa-t@doc-net.or.jp 担当：山川まで

2020年度 西播社保協自治体キャラバン記録

訪問日	時間	自治体
11月10日（火）	10：30～12：00	相生市
	14：00～16：00	上郡町
11月12日（木）	10：30～12：00	赤穂市
	15：00～15：45	宍粟市
11月13日（金）	10：30～12：00	姫路市
	14：00～15：00	たつの市
11月19日（木）	10：30～12：00	市川町
	14：00～16：00	神河町
11月20日（金）	10：30～12：00	太子町
11月26日（木）	10：30～12：00	福崎町
	14：00～16：00	佐用町

「クイズで考える日本の医療 2020」

ご協力ください！

医療に関わるクイズに答えると200人に兵庫県のグルメが当たり、患者さんに楽しく医療問題について知らせられると好評の「クイズで考える日本の医療2020」。今回のテーマは「みんなでストップ！患者負担増」です。

今回はさらにWチャンスとして、家電製品やカタログギフトも当たります。

75歳以上の患者窓口負担の原則1割から2割への引き上げなどの制度改悪などがクイズになっています。患者さんにも負担増計画を知らせ、署名とあわせて負担増計画を中止させましょう。

（実施期間は10/1～来年3/8まで）

クイズチラシ・署名の注文・お問い合わせは TEL078-393-1807 まで



▲クイズチラシ2020

応募券はハガキになっており、切手を貼らずに投函できる

「医療・介護の負担増中止を求める」 署名へのご協力をお願い

自民党と公明党は12月9日、75歳以上の高齢者の医療費窓口負担を1割から2割に引き上げることについて、年金収入200万円以上、約370万人を対象とすると合意しました。来年1月から始まる通王国会で法案が提出される見込みです。

新型コロナ禍で患者さんの受診抑制が大きな問題となっている中、窓口負担増を行えば受診抑制に拍車をかけ、患者さんの命と健康を脅かすことになりかねません。私たちは5万筆を目標に請願署名に取り組んでいます。大変お忙しいこととは存じますが、ご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

署名にご協力ください！（オンラインでも可能！）

「渡すだけ」のカンタンな「署名用ハガキ」や待合室等で署名を回収できる専用の投函ボックス、「署名用ハガキ」の入ったポケットティッシュもご用意しておりますので、ぜひご利用ください。

また、協会ウェブサイトでオンライン署名を実施しています。下記リンクまたは、QRコードからアクセスしていただき、署名にご協力をお願いします。



<http://www.hhk.jp/senmonbu/signature202002/>

ラジオ番組や景品付クイズチラシへのご協力もよろしくおねがいします

寺谷一紀と！い・しょく・じゅう！

ラジオ関西
558



アシスタントの
犬塚あさなさん

医療知ろう！

2020年10月~2021年3月
毎週木曜日 PM7:25~7:35
協会会員が最新の医療情報をお伝えます。

クイズで考える日本の医療2020 **秋冬**

みんなで ストップ！ 患者負担増

政府は、さまざまな患者負担増を提案しています。高齢者をはじめ、あらゆる人が対象になります。クイズに答えて患者負担増について考えてみましょう。



正解者の中から
抽選で

地元のグルメ商品を
200名様にプレゼントします。



クイズに答えて景品をGET!!

ウェブサイトからも応募できます。 <http://www.hhk.jp>